

平成 20 年 4 月 28 日

各 位

会社名 株式会社 コロワイド
代表社名 代表取締役 蔵人金男
(コード番号 7616 東証第一部)
問い合わせ先 経理部長 久松 寛
(連絡先電話番号：045-274-5970)

業績予想の修正および特別損失の発生に関するお知らせ

・業績予想の修正について

最近の業績の動向を踏まえ、平成 20 年 2 月 8 日に公表いたしました連結（通期）業績予想および平成 19 年 11 月 2 日に公表いたしました個別（通期）業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 通期連結の業績予想数値の修正（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	117,550	3,651	2,627	1,135
今回修正予想（B）	116,616	2,869	1,964	1,017
増減額（B - A）	934	782	663	2,152
増減率（％）	0.8	21.4	25.2	-
平成 19 年 3 月期実績	117,005	2,361	1,632	232

〔金額単位：百万円〕

2. 通期個別の業績予想数値の修正（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	2,306	624	574	153
今回修正予想（B）	2,289	558	502	28
増減額（B - A）	17	66	72	125
増減率（％）	0.7	10.6	12.5	81.7
平成 19 年 3 月期実績	2,217	605	1,263	795

〔金額単位：百万円〕

業績予想の修正の理由

当期の外食産業につきましては、企業間競争の激化に加えて、相次ぐ食品企業の不祥事による消費者の食への不安の高まり、飲酒運転に関する規制強化、原油価格や穀物価格の高騰による原材料価格の上昇など、依然として厳しい環境が続いております。

このような状況の中、当社グループではグループとしての取り組み課題として、「マーチャンダイジング機能の強化」「グループ経営の効率化」「本部機能の強化」「店舗開発・設備投資の厳正化」「人的資源の充実」といった施策を通じ、従来からの収益構造についての見直しを継続的に行ってまいりました。

しかしながら、個人消費の低迷に加え、前述の外食産業を取り巻く懸念材料などの影響もあり、居酒屋業態を中心に既存店売上高が想定以上に低迷し、連結売上高は計画に対し未達となりました。

連結営業利益および連結経常利益につきましても、売上高減少を主要因として、各種原材料価格の高騰、エネルギーコストの上昇、また、労働人口減少がもたらす人件費の上昇などの影響もあり計画に対し未達となる見込みであります。

連結当期純利益につきましては、特別損失として、株安による投資有価証券評価損、閉鎖店舗・リニューアル店舗における固定資産除却損の計上や、昨年来の厳しい事業環境は今後も継続するものと考えられ、当期末時点における不振店舗に対し追加減損処理を実施することなどにより、連結当期純損失の計上となる見込みです。

尚、個別業績につきましては、システム投資に対する償却負担の増加および当社が保有しております連結子会社の株式に対して、減損損失を計上することにより、当期純利益が計画に対し未達となる見込みであります。

・特別損失の発生について（連結）

当期末時点におきまして、不振店舗を対象に新たに35物件等に対し減損損失875百万円を計上することいたしました。また、当社連結子会社が保有する投資有価証券の中で、時価が取得価格に対して著しく下落した銘柄につきまして486百万円の投資有価証券評価損を計上することいたしました。

以 上